

# ハイマート Heimat

ぐんま日独協会会報

1992年4月11日 発行

**5** 会員名簿号

発行者 平形 義人

発行所 ぐんま日独協会

〒371 前橋市三俣町3-11-12

☎0272-31-7212 FAX0272-32-4082



## 写 真

- ぐんま日独協会クリスマスの集い
- 平成3年12月1日
- 群馬会館1階広間にて

## □ハイマート5号の主な内容

- クリスマスの集い—ドキュメント
- 全国日独協会連合会総会参加
- ゲンシャー・ドイツ外務大臣レセプション
- ドイツ農村青年との交流会
- 会員の動向と投稿
- 事務局だより
- 4周年記念大会 (5/31PM2:00から群馬会館)  
ハースドイツ大使夫妻のご出席決定、「大使を  
囲む夕べ」のご案内

● 会員名簿

題字：平形 義人会長 表紙写真：石井 直人

# J.D.G.

## 会報 5号発刊にあたり

ぐんま日独協会会長 平形 義人

ぐんま日独協会も設立5年目となり、第5号の会報「ハイマート」をお届け出来ますのも、会員皆様の日独親善友好のご厚情の賜と心から感謝申し上げます。「ハイマート」の命名は会報がその名の如く親しみ易く且つ暖い交流の場となり、年輩者には懐かしい思い出の場とし、若者には大志を抱いて郷門を出づる勇気を披瀝する場として頂きたいと思をこめたものです。

4号は設立3周年記念号とし、別刷「もうひとりのブルーノ・タウト」を発刊して、県外にまで群馬に因む日独交流の認識を新にして頂きました。

5号には「92クリスマスの集い」のなごやかな有様そのまま皆様にお伝えし、堅苦しくなく気軽にこれからのぐんま日独協会の行事に大勢の皆様参加を求めようとするものです。又その後のニュースとして、2月11日にはケンブテン市民楽団を観迎し、2月12日にはゲンシャ外務大臣来日に当り、帝国ホテルに代表を送り、全国日独協会連合会に参加した記事等をのせました。

5号の特徴は巻末の会員名簿です。

この名簿は4号会報発送に同封した郵便振替の会費払込通知票用紙の裏面通信欄に設けました資料欄に記載報告下されましたものを基礎とし、未着の方には、従来名簿を参照して、出来るだけ正確を期しましたが資料未着、転居等の理由でまだ不十分と存じますので、会員皆様様の御協力をお願い申し上げます。

尚本号に特に御案内申しますのは、来る5月31日(日)午後2時より、市制100年の喜びに溢れる前橋市に於て4周年総会をドイツ連邦共和国大使Wilhelm Haas御夫妻をお迎えして開催することです。珍らしいことに大使の御尊父様も駐日ドイツ大使であられました。大使は日本語に堪能で、質問にも応ずるとのこと、振って御参加、観迎下さるようお願いいたします。又当日(財)日独協会を代表して医・歯・薬学委員会委員長 藤田眞之助先生御夫妻が御来臨下されます。東京通信病院名誉院長でございます。石橋長英博士の肝煎で日独医学協定が1939年締結されました時、その応答使節団7人の中に選ばれ渡独されて以来、今日迄日独交流に貢献下さって居られます。相良守峯先生の愛弟子でもあられます。(財)日独協会丸田芳郎会長の代理としての御越しでございます。甲斐文比古ベルリン日独センター総裁・江尻進副会長・園田和朗副会長に続いての御来県でございます。

昨年9月憲法研究家、高崎市大和商工(株)社長 須郷登世治氏が『独英日対訳ドイツ憲法の解説』を出版されました。氏が学生時代より培かかれた蘊蓄を傾け、豊かな社会人としての教養に基き、ドイツの理解に役立たせたい熱望をこめて、寸刻を惜しんで完成させた書であります。日

ごろ新聞やTVで激動のニュースを見ていても、その真相は本書を見てはじめて深く確実に理解することが出来るのです。たとえばドイツ統一後も今尚37万のソ連軍が駐留していることが、221頁の6ヵ国最終解決条約によるものと解ります。まえがきや、終りの随想に至るまで著者の心魂の表白の書で、並の憲法解説書ではありません。ぐんま日独協会推薦、自慢の書の誕生を喜び、皆様様の座右の書となされます様紹介します。

ドイツ大使館から『ドイツ分割から統一へ』と題するビデオ(VHS)一卷が届きました。見事な編集です。是非御一見下されますよう、おすすめします。

以上会の現況をお知らせし、ぐんま日独協会の発展を祈って擱筆します。

## \*\*\*\*\*ドキュメント

### ぐんま日独協会「クリスマスの集い」

朝雲 久見臣

楽しいひとときを久方ぶりに味わうことができた。この気持ちを文章にして、人に知らせることはなかなか難しい。自分のなかの満ち足りた心は、たやすくぐちを見つけて出すことができないからである。あれもこれも書かねばならないと思うと、ありきたりの報告文になってしまうし、大切な面白さが失われてしまう。そこでひとつのスタイルを考えてみた。楽しいムードだけに的をしぼって文章をつづり、あとは、事実だけの記録にとどめるという方法である。そうなれば、動きが軽くなるし、ぐんま日独の集いが、なにか雰囲気の良い、行ってみたいなにかがあるな、と感じてくれるかもしれない、そう思ったからである。

### ★お祭りみたいな会場準備風景

もみの木が運びこまれた。会長の山林から切ってきたもので、高さはゆうに3メートルはある。がぜん、会場準備は活気にみちてくる。受付係、室内係、音響担当などがめいめいの部署で動きまわっている。

「○○さん、すみませんねえ、お茶の用意を手伝ってください」

いましがた着いたばかりの妻と義妹は、早速、会長の声に招かれて奥の部屋へ消えていった。パーティー用の料理を届け終えた人達は、受付に書きつけを渡して帰っていく。入れ代わるように、早着きの参会者が顔をみせ始めた。すると会場からどよめきがあがる。クリスマスツリーが、見事に部屋の一角をしめて、堂々と、しかも清楚にできあがったのだった。

参会者に渡す土産袋の作業が終わると、待っていたように受付に人々の列がつづく。みな受付のそばに集まって手をかしてあげる。見知らぬ顔に出会うと、もうそこに楽しい会話は生まれ、すでにクリスマスの集いは始まっていた。

### 平形会長の笑顔で乾杯



### ★鈴が鳴ります五分間スピーチ

5分間スピーチの申込み者が数人いた。今回から、5分を過ぎると鈴を鳴らすことになっていた。初めの方は、ぜんぜん気にすることなくお話しをしていたが、鈴を鳴らされなかった。鈴の係が、新入会員と思って優遇されたのかもしれない。二番目に私がマイクをもった。おそらく、会場の人々は美しい鈴の音が楽しめると思ったに違いない。鈴の音を聞きたい気持ちもないわけではなかったが、できればプロらしく、ピチッと決めたいものだと思って、鈴の係のTさんをチラとながめた。5分間スピーチはうまくいった。鈴を鳴らすこともなくおわって内心ほっとしたが、どうも実際はすこしオーバーしていたような気がする。Tさんに厚く礼を申し上げて話を閉じた。

あとの方々は、みなきれいにまとめてスピーチを終わった。そのために、全体の進行がスムーズに流れ、自己紹介と、互いに持ち寄ったプレゼントの交換会にたっぷり時間がとれたのはよかった。だが、折角もってこられたあの鈴の音を聞けなかったのはいささか残念、といった陰の声も伝わってきたが……。

### ★子どもにかえったプレゼント抽選会

このときばかりは、参会者の顔に生気がみなぎり、眼はハツラツと輝き、少年、少女の時代にかえったように見受けられた。おそらく私もきっとそう見られていたに違いない。二人のTさんが番号札を配っていく。配り終わると、ツリーの下に積まれている品物を取りあげ、番号を読み上げる。ハイ、と元気のよい返事をする人、立ち上がって取りに行く人、手をいきおいよく挙げる人、みな様々のポーズをとりながら、いつもはプレゼントを渡すことの多い立場にある人々にとって、このときばかりは、どんな贈り物かと胸を躍らせたものである。

「なんでしょねこれは、包み紙があなたのと同じですねえ」

そんな会話が聞こえてくる。中身のはっきりしているも



### 平形会長のあいさつ

Meine Damen und Herren!

Es freut mich sehr, daß Sie viele Kameraden der J.D.G. in Gurma sich zusammen bis hierher bemüht sind.

Ich glaube, daß Sie vor einige Wochen unseren Vereinsbericht „Heimat“ bekommen haben, damit heute hier gekommen sind.

Ich wünsche Ihnen fröhliche Weihnachten und den glücklichsten Tag in diesem Jahr heute zu haben!

Am 31. Mai 1992 ab 14.00 Uhr im Gurma-Kaikun-Saal halten wir die allgemeine Versammlung der J.D.G. Gurma und dabei werden Frau und Herr Wilhelm Haas der Botschafter der Bundesrepublik Deutschland eingeladen.

Also hoffe ich, daß Sie alle auch hier zum „Gurma-Kaikun“ am 31. Mai kommen und Frau und Herrn Botschafter willkommen heißen!

Danke schön!



のもあるし、ぜんぜんわからないものもある。

「さあ、みなさん、中をあけてください」

会長の合図を待ちかねたように、テーブルのうえのプレゼントをあけた。ワイン、ブランデー、クッキー、チョコ、高級ハンカチ、壁掛け、書籍、ボディローション、香水、ファンタジックカレンダーなどがでてきた。思いがけない品々は、人々を心から喜ばせたようである。自分たちの持ち寄った贈り物が、喜ばれている様をみると、また違ったうれしさがこみあげてくる、そんなムードが会場いっぱいひろがっていた。自己紹介のついでに、このプレゼントも紹介されて、和やかにマイクが移動していったのである。



プレゼント抽選会での角田副会長と土屋理事

★笑わせるコツ—記念撮影から

2時間半にわたったクリスマスの集いは、結びの記念撮影に移った。いつものIさんが手なれた仕草で、自動シャッターを押すと、みんなのところへかけてきた。程無くカチッと音がしたが、フラッシュはあがらなかった。あらっとなだれかが叫ぶと、みんながいっせいに笑いだした。名カメラマンは落ちつきはらって、

「笑い顔がほしかったので、フラッシュのコードをはずしておいたんです。ハイ」

その言葉に、もう一度笑いがおこって記念撮影は無事に終わった。「ハイマート」の表紙の写真には、そのときのユーモアのあとがそこはかたなく残っているはずである。



息のあった朝倉ご夫妻

記録「クリスマスの集い」

開催日時 1991年12月1日 14時から16時30分まで  
 ところ 群馬会館  
 進行 開会のことば 佐藤事務局長  
 平形会長のあいさつ  
 5分間スピーチ 須郷、朝雲、角田、土屋の各氏。  
 歌唱指導 朝倉夫妻 ドイツ国歌と聖歌  
 クリスマス・プレゼントの抽選  
 自己紹介とプレゼントの発表  
 懇談 ツンボールのマナーについて。  
 音楽会のおしらせ。など  
 ソプラノ独唱 朝倉夫人 伴奏 朝倉氏  
 記念撮影 石井氏  
 閉会のことば 平形会長

\*\*\*\*\*

平成4年2月12日ゲンシャー外相歓迎レセプション  
 渡辺外相と談話、通訳はシュルテ参事官



〔撮影・佐藤事務局長〕

全国日独協会連合会について

全国日独協会連合会1991年度年次総会は平成4年2月12日(水)午後1時から都内帝国ホテル「鶴の間」で開催され、「ぐんま日独」からは平形会長所用のため中村理事須郷理事佐藤事務局長が出席した。総会に先立ちドイツ連邦共和国ゲンシャー外相の訪日を記念して、歓迎祝賀会が同ホテル「富士の間」で開かれ、日独協会も相伴に預った。正午に大使館職員の案内で入場した多くの参加者は直ちにレセプションに入り、知己との歓談に入った。間もなく渡辺外相同伴でゲンシャー氏も入場した。氏は連続17年間も外相をつとめ、内外の信頼を集めている政治家である。通訳はお馴染のシュルテ参事官である。日本側としても与党の議員ばかりでなく、社会公明両党の委員長も顔をみせた。

年次総会は定時に日独協会吉田常務の司会で進められた。ハース大使の代理としてオステン一等参事官が開会の挨拶をした。今回は会議室に通訳室を設け、出席者は机上のイヤホンを使用する便宜を与えられた。続いて丸田会長の代理として江尻副会長が開会の主旨を述べた。ドイツ側来賓としてベルリン日独センターのブロックドルク総長、ベルリン日独協会々長ハーシュ氏、プレーメン同会長もスラー氏も夫々挨拶した。日本側は北海道から九州迄の各団体が集まり、昨年発足した豊橋香川山口の新会員が紹介された。日独協会は現在全国で40団体あり、ぐんまは29番目につくられたのである。報告事項として吉田常務より本年度のホームステイに関する状況が説明された。尚ハーシュ会長より統一後の旧東独における日独協会も続々設立されると報告があった。ついで各協会の事業報告が行なわれたが、制限時間5分以内と言っても参加団体多いため、予定時間を超過し討論、講演は割愛された。ぐんま日独の報告は須郷理事の別記を参照されたい。

(佐藤事務局長記)

群馬日独協会会長

平形 義人様

拝啓 ご多忙中にも拘わらず、日独協会のため、また私たちのために、格別のご配慮を賜り、さらにこの度は全国連合会へのご案内を載き、誠に有難く厚く御礼申し上げます。佐藤様、中村様の親切なお導きにより、無事に行って参りました。私ごとき、新参者に対してご厚情を感謝いたしております。

さて当日、受付にて大使館の参事官フスHuss、シュルテSchulte両氏が親切に、Au ßern Minister ゲンシャ外相にひき会わせて下され、拙著「ドイツ憲法の解説」を渡し、ドイツ語にて簡単に、趣旨を話すことができました。さらに外相と肩を並べて写真を撮影してくれましたが、私の顔がわかって、送って貰えれば幸いと思っております。日本の渡辺外相や社会党の田辺委員長も見えておりました。

午後1時より、鶴の間において、1991年度の年次総会が行なわれ、各県の協会の活動状況などの報告に入りました。群馬協会の順番は、2時40分頃からで、佐藤事務局長さんが、私の著書について紹介して下さいだったので、それを受けて、

Dr. ヴイルフリート・シュルテ参事官からの礼状

Sehr geehrter Herr Sugo,

haben Sie ganz herzlichen Dank für Ihr Werk "Doitsu Kempo no Kaisetsu", das mir bei meiner Arbeit sehr nützlich sein wird. Als kleines Zeichen dieses Dankes werde ich Ihnen mit getrennter Post einige Bücher und Broschüren senden.

Ich hoffe, Sie bald einmal in Tokyo oder bei der JDG in Takasaki/Maebashi wiederzusehen, wenn Sie nach Tokyo kommen, rufen Sie mich doch bitte einmal an.

Mit den besten Grüßen

Ihr

【訳文】 尊敬する須郷様へ、貴殿の著書「ドイツ憲法の解説」をいただき、有難うございました。それは、私の仕事に大変役に立ちます。ささやかなる御礼のしるしとして、別便にて数冊の本とパンフレットをお送りします。近日中に、東京か、高崎または前橋の日独協会においてもう一度お会いできますことを願っています。東京へお出の時にはぜひもう一度お呼び願います。

1992, 2, 26 W. Schulte

(ドイツ連邦共和国大使館参事官 ヴイルフリート・シュルテ)

独英日対訳「ドイツ憲法の解説」について、概略の説明をし、最後に、これからの世界の指導国となるのは、ドイツと日本であり、それゆえに、ドイツ語についての関心を高めることも意義あることであること、しかし、もし、第三次世界大戦が起ったなら人類の滅亡は免れないであろう、自由Freiheit, 平和Frieden, それに健康Gesundheit,こそ私たちの求めてやまないことである。と結びました。

日本カール・デュイスベルク Carl Duisberg 協会の事務局長 小堀寛 様より、「ドイツ基本法の独英日対訳のご本を拝読しました、大変な労作と存じます」とのそえ書きある名刺を渡されました。私の著書を買ってくれる人もいたのかと、嬉しく思いました。

以上、概略の報告ですが、今後ともよろしくご指導賜りたく、寒さきびしきおり、先生のご健康と群馬日独協会の発展をお祈ります。

Aufwiedersehen!

1992年2月14日

須郷 登世治



ゲンシャードイツ外相に「ドイツ憲法の解説」を説明する須郷理事(92・2・12帝国ホテル)



〔ドイツ農村青年との交流会〕

Landwirtschafts praktikant

宮城村 北爪 和男

今から25年程前で、それもたったの1年間だけでしたが私は農業実習生として西独で過ごす機会を得ました。社団法人「国際農友会」の派遣によるもので費用も公費によって賄われ自己負担なしという幸運なものでした。

この派遣制度は概して社会的、経済的に恵まれない環境にある農村社会の多分次代を担うであろう若者達にとって正に福音であり、間違いなく大いなる夢と希望を与え続けています。数年前やはり農村青年を対象に同じ目的でアメリカ派遣をしていた団体と合併し、社団法人「国際農業者交流協会」と名を変えて今でもアメリカ、カナダを始めスイス、オランダ、デンマークそして勿論ドイツへも派遣が続けられており、我が群馬からは過去40有余年間に309名もの農業技術者や農村青年が海を渡って先進諸国の農業を体験し、帰国後それぞれの分野で活躍しています。この内ドイツ派遣は8名です。今迄、群馬日独で農業者は私だけでしたが近々彼等も仲間入りさせて頂く手筈になっておりますので何かと御指導できれば幸いです。

私達が派遣先国で人々の温かい友情と心からの親切に支えられ乍ら生活できた思い出は帰国後、幾星霜隔ようとも忘れる事はできません。依って私達はそうした恩義に報いるべく微力乍ら意志を同じくする仲間と連絡を密にし親睦を図り、情報交換等々を行い乍ら来日する方々には国籍を問わず政府関係者、農業実習生、農業関係視察団等々に対して交換会を開いたり視察の案内をしたりして国際交流、国際親善を図っております。



“Musikkapelle Heiligkreuz”  
平成4年2月11日 県民会館「ビールパーティー」にて

そして、この度はドイツはバイエルン地方から市民楽団の一行25名を迎える事ができました。この楽団はケンブテン市の市民で結成しているもので農家の人を中心に街の様々な職業を持つ人々の集りで冠婚葬祭や日曜日などに集まって演奏を楽しんでいる文字通り素人の楽団です。一行の日本滞在は2週間で群馬では前橋を中心に3泊4日でした。前橋でのイベントは2月11日の建国記念日でしたが、群馬会館で午後2時から演奏会、午後6時から場所は県民会館に移して「ビールパーティー」と銘打って多くの県民の方々の参加を得て親睦会を行いました。

日独協会員の皆様にも延30名程の方々に参加、御協力を頂きまして感謝、感激でした。短い滞在でしたが一行にとって初めての日本訪問であり、そして又、最初の訪問地が群馬、前橋とあって印象もかなり強烈だった様です。今頃きつと仕事の合間に日本で撮影したビデオの編集や写真の整理に追われている事と思います。

貴重な紙面をさいて報告させて頂く機会を与えて下さいました会長さんをはじめ編集委員の皆様には深謝致します。

◆群馬県国際交流協会(財)主催の群馬県国際交流団体連絡会議は平成4年2月29日(土)午後2時より県民会館4F会議室で開催された。冒頭同協会専務理事の挨拶によれば県内在住外国人は現在56ヵ国19,300人にも達すると言う。(平成3年末) ついで一倉県国際交流課長も通訳センター設置の構想を述べた。続いて市町村職員研修所教授阿部孝夫氏により基調講演が行なわれた。テーマは「地域における国際交流」で国際交流の現状を紹介分析し、将来にそなえての展望を詳細に披露した。終って直ちに交流懇談会に移り、午後5時閉会となった。(佐藤事務局長記)

この協会は平成2年10月行政と民間が一体となって群馬県の国際化と国際交流を推進する中核組織として発足各方面より指導的な役割が期待されている。

◆◆ニ♥会員のおたより◆◆◆◆◆

土屋喜代子(前橋)

☆少年のごとき瞳で語らいし  
ヨーロッパの想いはるけく

☆若き日の胸にきざみし古き都市  
心に深く、今も想いつ、

☆過ぎし夏ザルツの思い出胸に秘め  
今もすがしき空を眺めつ

—平成四年三月の  
会議にて—

????????????RÄTSEL??????????????

WO IST HIER ???

(いたずら者が Wegweiser の矢印を消してしまった)

1	Lindau 59km München 112km Füssen 41km	2	Karlsruhe 141km Basel 53km Donaueschingen 57km
3	Traben Trarbach 55km Trier 125km Koblenz 49km	4	Minden 44km Hannover 46km
5	Grafring 23km München 53km Salzburg 84km Rosenheim 27km	6	Coesfeld 17km Dülmen 19km Boken 14km

ごく易しいのを作ってみましたので是非挑戦して下さい。

※ハガキに1～6の地名の答を書いてお寄せ下さい。  
正解の方には粗品を差し上げます。  
距離はおおよその数字です。(沼田ドイツ語会出題)

## 「ドイツで学んだ師の教え今も」

前橋市 川島 孝一

今を去る40年前、戦後の残痕の中にあつて旧制高校生の  
蜜カラスタイル——弊衣破帽姿は、当時寮歌とともに「青春」の象徴でした。

—— 私自身も、昭和24年、品川区大井鮫州の都立高工  
(現・都立大工学部)に入学し、その蜜カラと寮歌(正気寮)に酔い、友人達と都内はもとより故郷(前橋)を長髪・マント・高下駄で闊歩したものです。

しかし、当時校長であつた清家正先生は、「そのスタイルは学園に相応しくない!」と自らその教育指導にあつたのです。

例えば、毎朝校門に立ち、1.挨拶・返事・身なりはきちんとせよ! 2.遅刻するな!背スジを伸ばせ!と。また校舎(教室・実習室)を巡り、3.歩く時は爪先に力を入れ音をたてるな! 4.常にズボンには折り目を付けておけ! 5.勉強は資格を付けるためにやるのではなく、生きる力を付けるためにやるのだ!と、学生達を戒めるのでした。

単なる5箇条でしたが、今に思えば、そこに凝縮されていたことは、①人間(社会人)としての基本的マナーと品格を醸成したい。②工場の危害防止に着目・努力する優れたエンジニアを養成したい。という清家先生の高邁な「教育原理」が強く込められていたのです。

しかも、その根底には、先生が蔵前高工(現・東京工大の前身)卒業と同時に官費留学生として、ドイツにおいて素晴らしい機械工学の真髄を学び、また紳士的なドイツ人の生活態度に触れて、「日本人創りのための手本として生かしていこう!」という、切なる願いと望みが、起因になっているといわれています。以後も、渡独し、いわばドイツ仕込みの「文(人間力)と武(技術力)」を身に付けるように努力されたといえます。

ともあれ、私が「社会人」として今日人並みに歩めるのも、考えてみますと、清家先生の「5箇条の教え」によるものといえます。

それも、そのルーツがドイツにあつたという思いをする時、ドイツに対する親近感を一層覚えるのです。

すでに、清家正先生は他界されましたが私の生活の中には、ドイツで学びとつた先生の「教育哲学」が現在でも支柱となって脈脈と生き続けています。

教育(感化)は、環境(浄化)は「人を創る」といいますが、まさに至言です。



平成4年2月18日に本澤繁二郎理事先生  
がご逝去されました。ここに謹んでご  
冥福をお祈りいたします。

## ☆お知らせ

### 大使ご来県歓迎 ぐんま日独協会4周年記念大会

- ・日時 '92. 5. 31(日) PM2~4:30
- ・場所 群馬会館1F「大理石の間」
- ・費用 参加費1人2千円及び平成4年度年会費(個人3千円 家族5百円 法人1口1万円)を同封の振替用紙にて5月15日までに払込み下さい。欠席の方は年会費のみ

当日は駐目ドイツ大使館よりハース大使ご夫妻及びシュルテ参事官を来賓としてお迎えします。又、年に一度の会員の方々の交流の場ともなります。多数の会員の皆さんの参加をお待ちしております。  
・駐車場は県庁・市役所をご利用下さい。

### ドイツ大使を囲む タベ

- ・日時 '92. 5. 31(日) PM5:30~8:30
- ・場所 群馬ロイヤルホテル 9F「真珠の間」
- ・費用 会費1万円(当日受付)

参加希望者は事務所へ電話でお申し込み下さい。

※定員になり次第締切らせていただきます。



ハース大使ご夫妻

### ◆投稿ご案内

日独交流につながる〔ご感想・情報・会員消息・作品〕を住所・氏名・職業・年齢・電話番号明記の上、お寄せ下さい。紙面の都合で編集部で手直しさせていただきます。(800字以内)

原稿の返却はいたしません。

宛先:〒371 前橋市三俣町三丁目11番12号

ぐんま日独協会

T E L 0272(31)7212・F A X 0272(32)4082

### 書籍紹介

- 独英日対訳「ドイツ憲法の解説」須郷登世治著  
中央大学出版部定価 5,150円

### 編集委員

(平形・角田・佐藤・中村・土屋・対馬・須郷・朝雲・石井・古屋・北爪・沢井)